

## 放課後等ディサービス自己評価表（事業者向け）

|  | チェック項目  | 評価 |           |   | 改善目標・工夫している点など  |
|--|---|----|-----------|---|---|
|  |   | はい | どちらともいえない | いいえ   |   |
| 環境・体制整備  | ① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか                                  | 10 |           |   | ◎市の委託ということで広い庭に加え体育室・調理室・会議室、そして机に向っての勉強のできるスペースのある市の建物の活用ということで十分である。<br>◎庭では自転車の乗り方、体育室では野球・卓球・サッカー・ボーリング等のスポーツ等の団体活動を通じて、技術の向上と仲間づくりを目指している。 |
|  | ② 職員の配置数は適切であるか   | 10 |           |   | ◎常勤5～6人、時には7～8人の配置日もあり適切である。子供の欠席があっても予定通り出勤してもらう努力をしている。   |
|  | ③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか                           | 8  | 2         |   | ◎市の建物の利用ということで、不備についてはその都度、市と相談しながら解消している。  |
| 業務改善   | ④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか                | 6  | 3         |   | ◎職員の勤務時間が原則常勤、パート共、子供達の利用時間より前に出勤、そして子供達が帰った後も、勤務時間があるため振り返りや支援方法など、毎日 大勢で打合せをしている。   |
|  | ⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか     | 8  |           |   | ◎保護者会への参加者が少ないことから、まずは送迎時に、また保護者がきららに迎えに来た時に子供達の様子を見てもらって意見を求め改善している。特に保護者との連絡帳でのやりとりに工夫している。   |
|  | ⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか                           | 8  | 1         |   | ◎公開している。  |
|  | ⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか                             | 3  | 5         |   | ◎他事業所の職員との意見交換（評価も含めて）を通じて業務改善につなげているが、今後は研修の機会も増やしたい。  |
|  | ⑧ 職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保しているか                                 | 7  | 2         |   | ◎常勤のみならず、パート職員にも研修の内容を説明しながら、その機会を確保している。（勤務時間数の関係から、何回も多勢で、という参加は厳しいが今後も確保していきたい。）   |
| 適切な支援の提供   | ⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成しているか | 7  | 2         |   | ◎学校の先生、保護者、相談員等との話しあいで見えてきたニーズや課題について、職員会議を通じて分析し、作成している。   |
|  | ⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか                   | 5  | 4         |   |   |
|  | ⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか                                       | 10 |           |   | ◎全体での会議の中で行っている。  |
|  | ⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか                                     | 8  | 1         |   | ◎日々「本日の活動や支援の内容」については打合せをやっており、「昨日の問題点」「連絡帳での指摘」等を見出し方向性を決めていくことで固定化はしないようにしている。  |
|  | ⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか                         | 8  | 1         |   | ◎普段できない遠出の行事や宿泊体験ができるのが長期休暇の時、ということで茨城大洗での海水浴や横浜市少年自然の家赤城林間学園での宿泊体験を続けている。  |
| ⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等ディサービス計画を作成しているか | 9   |    |           | ◎①で記載のように広いスペースがあるということから個別活動を通じて、団体活動に結びつけ集団のためには個人でどうすべきか、という活動に結びつける計画に挑戦している。 |   |

|              |   |  |    |   |   |  |
|--------------|---|--|----|---|---|--|
| 適切な支援の提供     | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか                        | 10 |   |   | ◎パートさんも13時出勤ということで毎日常勤もまじえて確認している。   |
|              | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか                   | 7  | 3 |   | ◎パートさんも子供達が帰った後も1時間程の勤務があるので毎日振り返りは行っている（振り返りノート）                                  |
|              | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか                               | 7  | 2 |   | ◎従来の個別支援計画にプラスして振り返りノートの作成も開始。   |
|              | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか                              | 5  | 4 |   | ◎計画の見直し以前に計画達成のための手法の見直し等が中心となっている。  |
|              | ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか                                     | 6  | 3 |   |  |
| 関係機関や保護者との連携 | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか                     | 7  | 2 |   | ◎看護師さんの支援を要する子の会議には、担当看護師の参画があるが、それ以外はサービス管理責任者が参画。                                |
|              | ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | 10 |   |   | ◎学校から連絡があり、子供も持ってきてくれたり、保護者からの連絡もあり、ということで対応はしているが、どの学校、どの保護者も一律でないので連絡調整をすることも多い。 |
|              | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか                             | 7  | 2 |   |  |
|              | ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか                | 4  | 4 | 1 | ◎中高生のためのデイということで、中学や特別支援学校、そして小学生対象の事業所等とは共有・理解に努めている。                             |
|              | ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか     | 4  | 5 |   | ◎移行支援会議への参加<br>要求があれば提供する準備はある。  |
|              | ㉕ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか                          | 6  | 3 |   |  |
|              | ㉖ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか                                  | 3  | 5 | 2 | ◎そのような取り組みはまだ。   |
|              | ㉗ | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか   | 7  | 2 |   | ◎参加している。   |
|              | ㉘ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか                        | 9  | 1 |   | ◎保護者によって頻繁に会える人と会えない人がいるが、通常連絡帳にて毎日伝え、それに対する質問や相談等が寄せられることも多く、その都度対応している。          |

|            |    |   |    |   |   |   |
|------------|----|---|----|---|---|---|
|            | ②9 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか                                | 2  | 6 |   | ◎保護者から伝えられる子供の情報と、きららで見せている子供の様子が大きく違っているケースもあるので、意見交換はしている。                                |
| 保護者への説明責任等 | ③0 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか   | 8  | 1 |   | ◎行っている。   |
|            | ③1 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか                                       | 9  | 1 |   | ◎連絡帳に記される相談等には適切に応じ、あわせて送迎時にも話す機会をつくり、助言を行っている。   |
|            | ③2 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか                                   | 3  | 4 |   | ◎保護者個々との連携はとれているが、保護者同志というのは、集まりも悪く難しい状況。   |
|            | ③3 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速にかつ適切に対応しているか            | 10 |   |   | ◎保護者からの苦情というよりは、悩みごとの相談が多く、その都度スタッフ会議を開いて対応している。  |
|            | ③4 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか                               | 9  | 1 |   | ◎季刊新聞「きらら通信」を発行、子供や保護者、そして学校等には送付。  |
|            | ③5 | 個人情報に十分注意しているか  | 10 |   |   |   |
|            | ③6 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか  | 9  |   |   | ◎連絡帳・電話、電子メールを活用したり、送迎時直接伝えたりしている。<br>◎意思疎通ができるようにできるだけ会話をしたり、司会進行、挨拶等に挑戦させている。             |
|            | ③7 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか   | 7  | 1 |   | ◎ほあん祭りでは地域住民の参加も多く、子供、お年寄り、地域住民との交流ができています。   |
| 非常時等の対応    | ③8 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか                                | 7  | 1 |   |   |
|            | ③9 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか   | 10 |   |   | ◎市役所の計画に合わせ、出火対策、地震対策、そして水害に対する訓練等を行っている。   |
|            | ④0 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか   | 8  | 1 |   | ◎日々の会議の中で、その都度「虐待と思われる支援はなかったか？」の意見交換をして対応。   |
|            | ④1 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 6  | 1 |   | ◎その子に危険が押しよせてくると思われる時には身体拘束をしてでもその危険から回避させることとするが、まずはそのような子には二人の支援者で対応することによって危険にあわないようにする。 |
|            | ④2 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか   | 5  | 3 | 1 | ◎保護者との確認もふくめて、極端な食物アレルギーの子はいない。   |
|            | ④3 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか  | 5  | 3 | 1 | ◎日々の活動日誌にヒヤリハットの事例発生の場合、記載し共有するようにしている。   |

# 放課後等ディサービス自己評価表（事業者向け）

※10人中10人回答

| チェック項目   |   | 評価 |   |    |   |   | チェック項目   |   | 評価   |   |     |    |     |   |   |
|--|---|----|---|----|---|---|--|---|--|---|-----|----|-----|---|---|
| 環境・体制整備  | (1) 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか  |    |   | 10 |   |   | 関係機関や保護者との連携   | (23) 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか            | 4  |   | 4   | 1  | 1   |   |   |
|  | (2) 職員の配置数は適切であるか   |    |   | 10 |   |   |  | (24) 学校を卒業し、放課後等ディサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 4  |   | 5   |    | 1   |   |   |
|  | (3) 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか                                       |    | 8 |    |   | 2 |  | (25) 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか                      |  | 6   |     | 3  | 1   |   |   |
| 業務改善   | (4) 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか                            |    | 6 |    | 3 | 1 | (26) 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか   | 3   |  | 5   |     | 2  |     |   |   |
|  | (5) 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか                 |    | 8 |    |   | 2 | (27)（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか   |   |  | 7   |     | 2  | 1   |   |   |
|  | (6) この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか                                       |    | 8 |    |   | 1 | 1  | (28) 日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか                    |  |   | 9   |    |     | 1 |   |
|  | (7) 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか   | 3  |   | 5  |   | 2 | (29) 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか                                | 2   |  | 6   |     |    | 2   |   |   |
| (8) 職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保しているか                |   | 7  |   |    | 2 | 1 | 保護者への説明責任  | (30) 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか                                  |  | 8   |     |    | 1   | 1 |   |
| 適切な支援提供  | (9) アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成しているか             |    | 7 |    |   | 2 |  | 1   | (31) 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか                           | 3   |     | 9  |     |   | 1 |
|  | (10) 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか                              |    | 5 |    | 4 |   |  | 1   | (32) 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか                       | 3   |     | 4  |     |   | 3 |
|  | (11) 活動プログラムの立案をチームで行っているか  |    |   | 10 |   |   |  |   | (33) 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか |   |     | 10 |     |   |   |
|  | (12) 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか  |    | 8 |    |   | 1 |  | 1   | (34) 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか                   |   |     | 9  |     |   | 1 |
|  | (13) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか                                    |    | 8 |    |   | 1 |  | 1   | (35) 個人情報に十分注意しているか  |   |     | 10 |     |   |   |
|  | (14) 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等ディサービス計画を作成しているか                       |    | 9 |    |   |   |  | 1   | (36) 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか                                |   |     | 9  |     |   | 1 |
|  | (15) 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか                        |    |   | 10 |   |   |  |   | (37) 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか                                 |   | 7   |    |     | 1 | 2 |
|  | (16) 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか                   |    | 7 |    |   | 3 |  |   | 非常時等の対策  | (38) 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか |     | 7  |     |   | 1 |
|  | (17) 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか                               |    | 7 |    |   | 2 | 1  | (39) 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか                                |  |   |     | 10 |     |   |   |
| (18) 定期的にモニタリングを行い、放課後ディサービス計画の見直しの必要性を判断しているか |   | 5  |   | 4  |   | 1 | (40) 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか   |   |  | 8   |     |    | 1   | 1 |   |
| (19) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか           |   | 6  |   | 3  |   | 1 | (41) どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等ディサービス計画に記載しているか |   |  | 6   |     | 1  |     | 3 |   |
|  | (20) 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか                     |    | 7 |    |   | 2 | 1  | (42) 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか                              |  | 5   |     | 3  |     | 1 | 1 |
|  | (21) 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか |    |   | 10 |   |   |  | (43) ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか   |  | 5   |     | 3  |     | 1 | 1 |
|  | (22) 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか                             |    | 7 |    |   | 2 | 1  |   | はい   | どちらでもない   | いいえ |    | 無回答 |   |   |